



相談者の気持ちに寄り添った婚活支援を心掛けています。結婚の報告を受けたときが一番うれしいです。相談は個室で行い、プライバシーが守られますので、安心して気軽にお越しください。

こまつNPOセンター
スタッフ
若山弘子さん

結婚相談
市内2カ所、結婚相談を行っています。
■小松市社会福祉協議会第一コミセン
ン内) とき 毎週土曜日13時30分〜15時30分(予約不要)
■こまつNPOセンター(まちづくり交流センター内) とき 随時(要予約)
お問い合わせ こまつNPOセンター ☎46・6661

助成制度
出会いの機会を提供するイベントなど、結婚支援を目的とした事業を対象に開催費用を助成します。
対象団体 市内に事務所または事業所がある法人・団体(営利、宗教、政治活動などに類するものを除く)
助成額 上限3万円(1団体あたり年2回まで)
申し込み 平成31年2月28日(木)までにはつらつ協働課 ☎24・8397
または、小松市社会福祉協議会 ☎22・3354

こまつ新婚すまい応援金
新生活のスタートに必要な住宅の費用を助成します。
対象者 次の①〜④を全て満たす夫婦
①平成30年4月1日以降に結婚し、夫婦共に婚姻日における年齢が34歳以下
②夫婦共に税金所得が340万円未満
③夫婦共に税金を完納していること
④小松市に3年以上住むこと
対象費用 新築、物件購入費、アパートなどの敷金・礼金、家賃など(入居時支払い賃料に限る)
助成額 最大30万円
そのほか 婚姻から半年以内に申請が必要。詳しくは市ホームページまで
申し込み 平成31年3月29日(金)までに建築住宅課 ☎24・8104



人生のパートナーを求めて

ステキな出合いを 応援します

結婚を望む男女の多くが、長時間労働や雇用形態の変化などによって、結婚相手と巡り合うチャンスが少なくなり、また、将来の結婚生活への不安を抱えています。このような状況を踏まえ、皆さんの出合いの場が広がるよう支援しています。

問い合わせ

はつらつ協働課 ☎24・8397

結婚相談

助成制度

婚活セミナー

ライフデザインセミナー & プチ交流会

結婚とは？人生とは？これから出会う“未来のパートナー”について、一緒に学び、交流しましょう。

とき 12月15日(土)14時~17時30分
ところ 市民センター
内容 第1部「みらいデザインセミナー」
第2部「プチ交流会」
対象 主に市内に在住、在勤している单身男女
定員 男女各25人 参加費 無料
申し込み 12月13日(木)までに、こまつNPOセンター ☎46・6661
またはホームページから。

受賞おめでとうございます。



文化賞

小松市文化賞は、科学をはじめ芸術、産業、経済など広く文化の発展に尽くし、活躍された人にお贈りしています。

問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8000

一人ひとりに寄り添い、命の尊さを伝えたい



あきやま のりこ
秋山 典子さん (矢田野町)

■医療法人社団澄鈴会理事長

主な経歴

昭和59年 粟津神経サナトリウム副院長
平成10年 小松市医師会理事
平成13年 小松市教育委員
平成25年 小松市医師会副会長
平成26年 小松市社会教育委員
平成27年 医療法人社団澄鈴会理事長

一人ひとりに寄り添い、命の尊さを伝えたい
粟津神経サナトリウムに勤務し、開業医として訪問診療などの地域医療に携わる秋山さん。医師として働く父の背中を見て育ち、自分も父のように人々を救いたいと、医者の道を志しました。
小松市医師会の代表として、市の医療や保健、福祉、教育など多くの委員会委員に就任。特に、精神科医という立場から、いじめや不登校、心の悩み、精神障害、認知症対応といった幅広いメンタルヘルス分野について積極的に提言し、市民の健やかな暮らしの実現に取り組んできました。
平成13年からの約8年間、小松市教育委員を務め、発達障害を持つ子供への教育支援のほか、「いのちの大切さを学ぶ講演会」の企画・講演や、青少年の心のケアの体制づくりなど、教育行政の振興にも大きく貢献されました。

更に、精神科医としての専門性を生かして「メンタルケア機能強化型高齢者総合相談センター」を運営。市内にある高齢者総合相談センターのメンタル支援のスキルアップなど、地域精神医療や地域包括ケアの充実にも力を注いでいます。
これまで様々な委員を経験し、「精神的な悩みを抱えた人たちを支えるのは医療だけではない。地域みんなの温かいサポートの輪が広がっていると感じた」という秋山さん。「一隅を照らす」をモットーに、何事もあきらめず、一人ひとりの幸せのために最善を尽くす姿勢から、お父様から受け継いだ情熱と思いやりの心が溢れています。

【医療・保健・福祉・教育】